

令和7年度 事業報告

社会福祉法人 吾郷会

経営理念 「顧客満足の追求」

物価高騰・人件費高騰(最低賃金改定)により経営は厳しい状況が続いた。サービスに於いては、職員の努力、ICT等の導入で向上したが、あってはならない虐待が2件発生し、信頼回復に全職員で取り組んだ。

満足度調査は、概ね高評価であった。不満足度調査は、意見を基に直ぐに改善を実施した。

指 標 自己啓発による人事評価の向上(自律した職員へ)

人事評価の向上については、結果的には向上した。しかし、自己啓発については一部の職員を除き、全体的に自らより他から与えられて啓発することが多く、自立した職員の育成に課題を残した。

基本方針

※ 人材の育成

何よりも人材の育成に力を注いだ。

外部コンサルタントによる、「ムリ・ムダ・ムラの研修」「トーチング研修」を中心に職員の意識変革に努めることが出来つつある。

他の研修(特にリモート等研修)にも多数受講し、知識の習得や情報収集を行い、サービス向上に繋げた。

※ 組織の確立

経営理念実現に向け、働きやすい職場づくりを意識し、組織風土の変革を図った。

ハラスメントのない職場・コミュニケーションの充実した職場に向け、職員一同努力した。

※ なぜの追求

常に成功、失敗においても「なぜ」を考え、分析する習慣を身につけるよう指導した。

まだ、分析力(本質)の弱い部分はあるが、しっかり原因を分析することを心掛け、サービスに生かした。

※ 地域貢献

交流事業も少しずつ増え活動を行い、また、こちらからの働き掛けも積極的に行った。

SDGs 活動は継続し、古着を集めて送る等の活動を行った。

研究発表大会は Web での開催であったが、反響も多くあり、好評を得た。

1. 事業

- (1) 介護老人福祉施設双葉園 設置経営 (定員 50名)
- (2) 介護老人福祉施設ハートランド双葉園 設置経営 (定員 30名)
- (3) 介護老人福祉施設サンデイズ双葉園 設置経営 (定員 50名)
- (4) 介護老人短期入所・介護予防老人短期入所 設置経営
(双葉園4名、ハートランド双葉園6名、サンデイズ双葉園20名)
- (5) 通所介護・通所介護予防老人福祉施設吾郷センター 設置経営 (定員 25名)
- (6) 美郷町介護予防・日常生活支援総合事業
- (7) 通所介護・通所介護予防老人福祉施設サンデイズ双葉園 設置経営 (定員 35名)
- (8) 大田市介護予防・日常生活支援総合事業
- (9) 認知症対応型共同生活介護マホロバの里 設置経営 (定員 8名)
- (10) 訪問看護・介護予防訪問看護ステーションおおち 設置経営
- (11) 吾郷会居宅介護支援事業所 設置経営
- (12) 高齢者生活支援ハウスサンデイズ双葉園 受託運営(大田市) (定員 20名)
- (13) 養護老人ホームまほろば大和 設置経営 (定員 50名)
- (14) 外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業所まほろば大和 設置経営
- (15) ヘルパーステーションまほろば 設置経営
- (16) 老人介護支援センター事業
(美郷町在宅介護支援センター大和、大田市海岸中央在宅介護支援センター) 設置経営
- (17) 小規模多機能型居宅介護ふたばの里 設置経営
(定員 登録24名、通所12名、宿泊7名)
- (18) 生活困窮者や社会福祉に関する人材育成に対する一時的な居住等の提供事業

2. 評議員会

年間に定時評議員会を1回、臨時評議員会を3回、書面決議による評議員会を1回開催し、決算関係、補正予算、当初予算、理事・監事の選任等定款に基づき審議した。

3. 理事会

年間に通常理事会を5回、書面決議による理事会を2回開催し、理事執行状況の報告及び決算関係、補正予算、当初予算、諸規程の変更、理事長の選任等定款に基づき審議した。

4. 相談役

法人の事業等について随時相談を行った。

5. サイト長会

感染症等により定期的な開催は出来なかったが、各サイトにおいて緊急に協議する事項、本部からの連絡事項を配付し、必要に応じサイト長会を開催し協議・検討を行った。

6. 監査

書面監査 令和7年5月24、25日 決算監査 令和7年5月26日

7. 研修

役職員による外部研修へ年間18回参加(役員研修1回、外部研修5回、Web研修12回)、各サイトへ外部研修を周知(外部研修4回、Web研修9回)し、知識の向上や情報収集を行った。また、法人

主催研修(対面24回、面談23回、リモート研修12回)や法人内研修(リモート)により、自己研鑽すると共に自事業所の活動につなげた。

8. 人事評価制度

年間2回、人事評価を実施した。全体会議は行えなかったが、各サイトにて平準化を図るための各サイトで水平展開を図った。

9. 第三者サービス評価

事業所によるサービスの点検を法人が委嘱したサービス評価委員3名により、サービス内容の整合性の評価を受け、サービスの質の向上を図った。また、改善事項について指導いただき、評価項目の改善を行った。

10. ISO の推進

内部監査の有効な活動を行ったが、是正において根本原因の特定(なぜ)が的確でないケースをあり改善に時間がかかった。内部監査においてサービス向上のための改善事項の問題が見つかり改善した。サーベイランスについては、特に改善事項はなくサービス向上に向け助言を受けた。

11. 地域貢献事業の実施

各サイトで通勤経路の美化活動に努め、環境整備につなげた。保育所・小学校との交流は行えたが、中学校・高等学校の職場体験の受け入れは希望者がいなかった。また、継続して生活困窮者の方へ住宅提供の整備を行ったが利用はなかった。

12. 研究発表大会の開催

Webにより開催を行った。(5発表)

13. 各種委員会

・リスクマネジメント委員会

年間に6回開催し、リスクの軽減、事故予防に努めサービスの向上を図った。また、様々な基準の平準化を図り、マニュアル等の見直しを行った。

・食事委員会

年間に6回開催し、課題を検討しながら衛生に関する事項、食事の質の向上を図った。また、マニュアルの見直しを行った。

・コンプライアンス委員会

各事業所とも相談・通報はなかった。委員により相談体制の強化を図った。
委員会の中で今後ますます増加する各種ハラスメントについて協議し、全体へ周知した。
職員のご利用者への虐待が2件発生した。

・広報委員会

広報誌を年間に4回発行し、家族・地域・関係機関に配布して吾郷会の活動をPRした。
ホームページの更新を随時行った。